

国際コンベンション都市・横浜 開催誘致・支援の新制度がスタート！

今年開港150周年を迎える国際コンベンション都市・横浜では、開催誘致段階での世界各都市間での厳しい競争に勝ち抜くため、また、開催支援段階での主催者・参加者の満足度の高いホスピタリティを提供するため、(財)横浜観光コンベンション・ビューローが主体となって、4月から新たに2つの制度をスタートさせます。

開催
誘致

制度①: 最高 1,000 万円を誘致段階で保証します！
横浜国際コンベンション助成金制度

1,000 万円！

国際コンベンション開催に対する財政援助は国内各都市の多くで実施されていますが、この「横浜国際コンベンション助成金制度」は、開催の数年前に開催地が選定される段階で、将来の開催について助成金交付を保証する、という点で画期的な制度です。また、コンベンション・ビューローが主体となって制度設計・施行を行う点では国内に例をみない制度です。助成金の最高金額は 1,000 万円とし、世界有数の国際コンベンション誘致を狙います。

助成対象: 経済波及効果とシティセールス効果の高い大型国際コンベンション(原則として、(1)参加者数 2,000 名以上、(2)海外参加者数 800 名以上、(3)参加国数5か国以上、(4)開催日数3日間以上、の4条件のすべてを満たす国際コンベンションを対象として審査により決定します。)

助成内容: 最高 1,000 万円の助成金交付を誘致段階で保証

助成手続: 誘致段階で交付を保証し、開催後に(財)横浜観光コンベンション・ビューローから一括して交付

実施期間: 2009 年 4 月から 2011 年 3 月まで(助成金は開催年に交付します)



海外からのインセンティブツアーへの助成制度も新たにスタートします！
(参加者 1,000 名以上の規模のツアーを対象に最高 200 万円相当まで)

開催
支援

制度②: 市民力でコンベンション開催を支援します！
横浜コンベンションサポーター制度

市民による
おもてなし！

市民のホスピタリティとスキルを活用してコンベンション開催を支援する制度としては、1989 年に全国に先駆け「横浜観光コンベンションボランティア制度」を施行し、以来主催者に喜ばれる支援メニューとして利用されてきました。このたび、現行のボランティアも含め、新規公募によるホスピタリティとスキルに優れたメンバーから構成される「横浜コンベンションサポーター制度」を新設します。これにより、より主催者満足度の高いサポートを提供し、同時に国際コンベンション都市・横浜の重要なセールスポイントの一つとしてPRし、誘致にも繋げていくものとします。

支援内容: 語学サポーター: 会場やエクスカーションでの観光案内、事務局補助など

日本文化紹介サポーター: 茶道、書道、華道、三曲、折り紙、着付け、日本舞踊など

主催者負担: 交通費等実費相当額

サポーター登録: 原則として小論文、面接等を行い選考登録します。

(4月から募集を開始します(語学サポーターのみ))



【参考資料】

1 横浜における国際会議開催実績について

(1) 日本政府観光局(JNTO)2007年国際コンベンション統計における実績(日本国内での都市別開催実績)

- ・参加者総数:182,487人で、第1位。
- ・開催件数:157件で、東京、京都に次いで第3位。

※会場別の開催実績

- ・参加者総数(166,768人)、外国人参加者数(10,954人)、開催件数(89件)の主要な3指標で、パシフィコ横浜が全国第1位。

(2) UIA(=Union of International Associations:国際団体連合)(※)統計における実績(世界での都市別開催実績)

- ・開催件数54件で、世界36位。(横浜より上位に位置するアジアの諸都市は、順にシンガポール、東京、ソウル、北京、京都、バンコク、クアラルンプールなど。)

(※)UIAは、1907年にベルギー・ブリュッセルにおいて設立された非営利・非政府の団体。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、国際会議統計(UIA統計)を例年8月に発行しています。

◎コンベンション等による経済波及効果について

平成19年度にパシフィコ横浜で開催されたコンベンション等による経済波及効果(※)は、日本全国に対する経済波及効果は約1,929億円、そのうち横浜市への経済波及効果は約690億円とされています。

(平成20年10月15日パシフィコ横浜記者発表資料より)

(※)ここでの「経済波及効果」とは、「直接効果」に「間接1次波及効果」「間接2次波及効果」を加算したものです。

2 「インセンティブツアー」について

インセンティブツアー(旅行)とは、企業が自社製品・商品やサービスの販売促進を目的として、販売店や販売担当従業員に対して動機付けを行うために企画される報奨旅行を指します。狭義の国際コンベンションと比べて、参加者一人当たりの消費額が多いといわれ、大きな経済波及効果が期待されます。

3 横浜コンベンションサポーター制度の「語学サポーター」募集要項について

以下のとおりとなっております(一部抜粋)。

(1) 募集人員(語学サポーター)

80名程度(英語:約60人、その他外国語約20人)

(2) 登録期間

平成23年3月31日まで(2年間)

(3) 活動日

当財団の依頼する活動日(年間5回程度)

(4) 登録分野

語学サポーター登録 *他に日本文化紹介サポーター登録もあります。

(5) 活動内容

横浜シティ・インフォメーションデスクにおける案内、横浜を中心とした観光案内、同伴者プログラムやエクスカッションなどでの案内、登録受付、事務局補助、会場運営、その他必要な業務

(6) 交通費等

派遣時間に関わらず、サポーターに対し、1日につき2,000円の交通費相当額を支給します。交通費はオリエンテーションの開催、会場下見の場合も支給します。派遣時間が食事時間にかかる場合には、弁当の支給又は食事代として1,000円を支給します。

(7) 応募条件

以下の全ての条件を満たす人が応募できます。

- ・サポーター活動を通じて「国際コンベンション都市横浜」の発展に寄与する意欲を持つ人
- ・健康で、サポーター業務の遂行に支障のない人
- ・上記活動内容を行うための知識・技能のある人
- ・パソコンの基本的な操作のできる人(インターネットでの情報検索・Eメールの送受信)
- ・横浜の観光等の基礎的な知識のある人

(8) 申し込み方法

所定の用紙に必要事項を記入して、4月23日(木)までに郵送で下記までお申込みください。(必着)。申込書は当財団ウェブサイト(<http://www.welcome.city.yokohama.jp/>)からも入手できます。

(9) 選考方法

・第1次選考

語学サポーター(英語)登録については、申込者が80名を上回った場合、提出書類による選考を行います。選考された方には5月1日(金)までに面接のご案内を差し上げます。

- * 申込者が 80 人以下の場合、全員に第 2 次選考をお受けいただきます。
- * 英語以外の外国語登録希望の方は第 2 次選考からお受けいただきます。

・第 2 次選考

面接(インフォメーションデスクのシミュレーションチェックの予定)。語学サポーター(英語)登録希望の方は併せて英会話レベルチェックを行います。

面接日程:平成 21 年 5 月 10 日(日)、13 日(水)、16 日(土)

* 面接希望日を申込み用紙にご記入ください。

(10) 選考者の判定

面接(英語登録の方は英会話レベルチェックも含む)の得点により選考者を決定します。最終的な選考の結果は5月20日(水)までに郵送します。

(11) 研修

5月下旬に開催する研修会に必ずご参加いただきます。平日と土日で開催しますので、ご都合のよい1回にご参加下さい。

(12) お申込み・問合せ

〒231-0023 横浜市中区山下町 2 産貿センター1階 (財)横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部
TEL 045-211-1203 FAX 045-641-7485

本件に関するお問い合わせ先
(財)横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 荒木・野本
TEL 045-211-1203